

第一種奨学金貸与月額変更願(届)の記入例

[様式 2-1]

第一種奨学金貸与月額変更願(届)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり変更をお願いします。

提出日	2010 年 9 月 7 日		
学籍番号	μ049999		
生年月日	1989 年 11 月 7 日		
フリガナ	ショウガク	タロウ	
氏名	奨学 太郎		
大学(院)	育英国際短期大学	学部	経済 国際経済
学科(科)	2		年次
学校	課程	研究科	学年

※異動種別	入学年(西暦)	奨学生番号
増額	減額	2 0 0 9
		6 0 9 0 4 9 9 9 9 9 9

・太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ学校に提出すること。
※箇所は、該当を○で囲むこと。

1. 月額変更 (裏面の「第一種奨学金変更可能月額一覧表」を参照して記入すること)

本人現住所	〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町10-7	
家族住所(自宅)	世帯主氏名 ()	
通学状況変更	※ 1. あり 2. なし (※該当を○で囲む) 大学院は除く	
希望する増額・減額始期	西暦 2 0 1 0 年 0 9 月 から	
従前の奨学金月額	5 4 0 0 0 円	希望する奨学金月額 3 0 0 0 0 円
変更する理由	学生生活をうまくやりくりするめどが付き、返還時の負担を軽減するために減額します。	

(注1) 自宅外月額への変更を希望する者は、自宅外通学であることを確認できるものを学校に提出してください(大学院は除く)。
(注2) 通学状況変更の変更「1. あり」を選択した場合は、「自宅外低月額から自宅月額へ変更(増額)」と「自宅月額から自宅外低月額へ変更(減額)」のみ、希望する始期を記入してください。

2. 保証制度

(注) ①現在選択している保証制度の番号を○で囲む。

(増額の場合は必ず記入してください。)

②人的保証の場合は、連帯保証人の署名と実印での押印が必要です。

③機関保証加入者は、月額変更に伴い保証料月額が変更となります。

④減額の場合は記入不要です。ご記入いただいた場合も使用いたしません。

1. 人的保証 (右欄を記入)	私は、奨学金の月額変更に伴い、貸与総額が変更となることについて理解したうえで、上記の者が月額変更することを承諾します。
	機構届出の連帯保証人 氏名 奨学 一郎
2. 機関保証	今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととさせていただきます。

確認書で連帯保証人を選択した場合は、もれのない様記入及び実印を押印させてください。

(以下は本人が未成年者の場合のみ記入してください。)

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は後見人	住所 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町10-7	電話番号 03-6743-XXXX
	氏名 奨学 一郎	生年月日 31年 2月 20日
親権者	住所 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町10-7	電話番号 03-6743-XXXX
	氏名 奨学 花子	生年月日 32年 3月 3日

本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。
親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親(いずれかがいないときは一人)です。後見人がいる場合は、後見人が自署・押印してください。

本変更願(届)申請時点において、奨学生が未成年の場合には、月額の変更について親権者による確認を明確に証するため、記入させてください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明)

年 月 日

学校名

学校長

(関係部課長)

職印

電話番号(担当者名)

()

学校番号

区分

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報(「延滞情報」(延滞額・延滞開始年・延滞月数等)を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。
また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が必要に応じて提供されます。
なお、機関保証に加入している人については、保証管理に必要な情報が(財)日本国際教育支援協会に提供されます。

(10.4)